



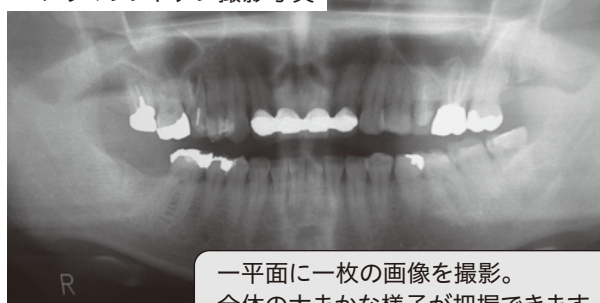
より正確な診断のために ～歯科用CT導入～

和知歯科診療所

みうら ひろと 三浦 博人 所長

和知歯科診療所で長年使用してきたパノラレントゲン装置が老朽化により更新が必要となり、令和7年12月にパノラレントゲン撮影とCT(コンピュータ断層撮影)の両方の機能を備えた装置を導入しました。

パノラレントゲン撮影写真



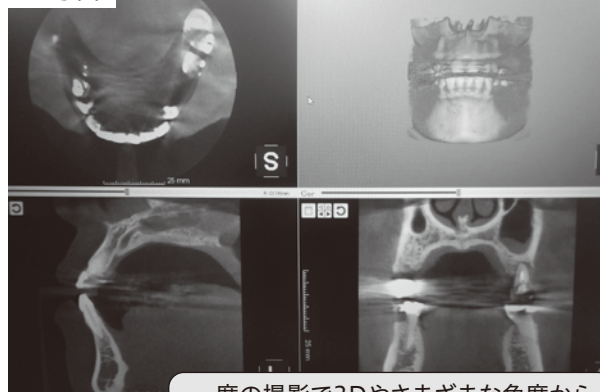
一平面に一枚の画像を撮影。
全体の大まかな様子が把握できます。

「歯が痛いけど、どの歯が原因か分からない」「治療を勧められているけど、少し不安がある」そんな経験はありませんか。

そこで、より正確な診断と安心できる治療のためにCT装置の出番です。

CT装置は顎の骨や歯の状態を立体的に詳しく撮影できる装置です。これまでのレントゲン撮影ではわかりにくかった骨の中の炎症の広がりや、歯の根の形、神経の位置などを従来のレントゲン撮影より正確に把握することができます。

CT写真



一度の撮影で3Dやさまざまな角度から画像を作ることができます。

そのため、原因の特定が難しい痛みの診断や、より精密な治療計画の立案が可能になりました。装置の大きさや撮影時間は、従来のレントゲン撮影機とほとんど変わりません。

また、歯科専用の装置は必要な部分だけを撮影でき、被ばく線量も抑えられていますので安心して検査を受けていただけます。

「気になる症状がある」「一度しっかり調べてほしい」そのような方は、どうぞお気軽にご相談ください。



装置の写真

